

事務事業名		郷土博物館協議会運営事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	郷土博物館
	政策	2 生涯にわたり学びのあるまちづくり					担当係		担当課長名	山口明良	
	施策	2 歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 地域の歴史・文化の理解の促進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14844	一般	10	4	4	郷土博物館協議会運営事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S58年度～ 年度		根拠法令 条例等	博物館法 佐野市立博物館条例		実施方法		直営	
	事業区分		事業分類		審議会・協議会等運営事業		リーディングプロジェクト		該当なし		
	市長マニフェスト		該当なし								

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
郷土博物館の諮問機関として設置した協議会を開催して、市民各層の代表から、博物館運営に関して意見や要望を聞くことによって、利用者の視点に立った施設の運営や事業の展開を行う。協議会を年2回開催し、視察研修を年1回実施する。	○博物館協議会 (第1回)平成26年10月16日開催 (第2回)平成27年3月17日開催 ○視察研修 ・平成26年11月11日実施 栃木県立博物館、栃木県立美術館						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	会議開催回数	回	2	2	2		
	視察研修回数	回	1	1	1		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

郷土博物館協議会 郷土博物館協議会委員	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	郷土博物館協議会委員数	人	10	10	10		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

①事業が円滑で効果的に実施できるように、郷土博物館の運営に関して委員から貴重な意見や助言を聴く。 ②委員に他館を視察研修する機会を提供し、博物館運営に反映する。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	意見・助言数	件	12	10	10		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

地域の歴史と伝統を知ってもらい、郷土への愛着を育んでもらう。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	佐野市の歴史と伝統を知っている市民の割合	%	91.6	93.1	93.5	94.0	94.5

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		106	106	164						
	事業費計(A)	千円		106	106	164		0			0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委員報酬	106	委員報酬	106	委員報酬	160	報償物資費	4		
	人件費	千円		467	473	473		0		0		0
トータルコスト(A)+(B)	千円		573	579	637		0		0		0	

事務事業名	郷土博物館協議会運営事業	担当部	教育総務部	担当課	郷土博物館	担当係	
-------	--------------	-----	-------	-----	-------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和58年郷土博物館の開館に伴い、博物館の運営や事業に関する諮問機関として、博物館協議会を設置した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	税金で運営される国公立博物館は、納税者による監視を受け、納税者への説明責任を果たすため、利用者や市民が加わる運営参画会議が不可欠なものとされる。また、人数の制限はあるものの、会議が一般市民に公開され、協議会を傍聴できるようになった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 協議会委員から郷土博物館の運営・事業に関する意見を聴いて、館の運営やサービス向上に反映しているため、郷土の歴史・文化に関する事業の充実が図れる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 学校教育の関係者や社会教育関係団体の代表者として、母集団と意識を共有する委員の意見を聞くことは、館運営やサービス向上には必要不可欠である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 郷土博物館が博学連携や生涯学習の事業を進める上で、学校教育の関係者や社会教育関係団体の代表者から意見・助言を聴くことができるので、見直す必要はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 年2回の会議と年1回の視察研修は、最低限必要なものであると思われる。事業費を削減する余地はない。人件費も同様である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 年2回の会議と年1回の視察研修は、最低限必要なものであると思われる。事業費を削減する余地はない。人件費も同様である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 事業内容が博物館運営に関し意見も求めるものであるため、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 博物館が開館している間は、博物館協議会は必要である。博物館が閉館となったときに事業は終了する。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			